

プライベート・エクイティ投資とパブリック・エクイティ投資
の6つの主な違い

2023年2月



新たな投資家層である個人投資家がプライベート市場に参入しています。プライベート・エクイティ市場とパブリック・エクイティ（公開株式）市場への投資における、主な違いについて説明します。



ローリー・ベイトマン

投資部門共同責任者兼
株式部門グローバル責任者



ティム・クリード

プライベート・エクイティ投資部門
責任者、シュローダー・キャピタル

シュローダーの投資部門共同責任者兼株式部門グローバル責任者のローリー・ベイトマン（RB）と、シュローダー・キャピタルのプライベート・エクイティ投資部門責任者のティム・クリード（TC）に、プライベート・エクイティ投資とパブリック・エクイティ投資の6つの違いについて解説してもらいました。

1) オーナーシップ

RB：「パブリック・エクイティとは、株式市場に上場する公開企業であり、数百万人の投資家によってその株式が所有されている場合があります。これらの株式は毎日、また日中にも取引することが可能です。」

TC：「非公開企業は上場しておらず、通常、個人や家族またはプライベート・エクイティ・ファンドが所有しています。プライベート・エクイティ・ファンドは、何年もかけて企業を大きく成長させるために、年金基金、保険会社、基金、財団、そして個人投資家からの資金を募り、それらの企業を買収します。英国および世界の企業の大半は非公開企業です。」

2) 情報の入手可能性

RB：「公開企業は、一般に認められた会計・報告基準に従って、企業に関する重要情報を公開しなければなりません。非公開企業にはそのような法的義務はありません。」

TC：「非公開企業に関する情報は公開されていないこともありますが、ジェネラル・パートナーやリミテッド・パートナー*は、その企業に関するすべての情報にアクセスできます。すべての情報をパブリックに公開する必要がないことの利点の一つは、非公開企業は、規制上の報告義務を果たす必要がない代わりに、ビジネスの運営に時間とリソースを集中できることです。」

*ジェネラルパートナー（GP）はファンドの運用を行う投資の専門家、リミテッドパートナー（LP）はプライベート投資に資金を提供する外部の投資家

3) 投資先企業への関与

RB：「公開企業の株主として、受動的な株主になることも、他の投資家を代表して企業行動にプラスの影響を与えようとする、積極的な株主になることも可能です。シュローダーでは、投資先企業への関与を非常に重視しており、責任ある企業市民として、投資先企業が最もサステナブルな方法で経営されるよう、発言権を行使しています。」

プライベート・エクイティ投資とパブリック・エクイティ投資 の6つの主な違い

2023年2月



TC：「プライベート・エクイティの投資家は、積極的に利害関係者として役割を果たす機会が、間違いなく多くなるでしょう。一般的に、公開株式市場の投資家は多くの少数株主の中の一人であるのに対し、プライベート市場の個人投資家は、少数の大株主の一人です。そのため、ビジネスにより近い存在となり、企業運営に大きな影響を与えることができます。さらに、プライベート・エクイティ・ファンドが投資する際には、通常、成長分野について明確に合意した事業計画を、経営陣と共同で作成します」。

4) バリュエーションの手法

TC：「プライベート・エクイティへの直接投資は、一般に認められた価値評価の原則および手続きに従って、通常、月次または四半期ごとに評価されます。評価手法は、以下の3つのアプローチのいずれか、またはそれらの組み合わせに基づきます。」

—マーケット・アプローチ（比較可能な同業他社の価値を参考に、マルチプルを適用する手法）

—インカム・アプローチ（企業のキャッシュ創出力と収益性に基づいて評価する手法）

—マイルストーン / イベント・ドリブン・アプローチ（当面の間インカムやキャッシュフローを創出できない企業に対して行う手法）

RB：「上場株式は、需要と供給に基づき、毎日市場で価格が決定されます。どの公開市場データのプロバイダーにアクセスしても、上場株式の価格をいつでも正確に知ることができます。仮に多くの投資家が株式を売却している場合、他の条件が全て同じであれば、需要の減少と供給の増加は、株価の重しとなります。対照的に、株式の買手が多く、供給が一定であれば、その株価は上昇するはずで。」

5) 流動性

RB：「上場株式は比較的流動性の高い投資と考えられています。これは、一般的に上場株式は素早く売買できるため、投資した現金をいつでも回収できるからです。」

TC：「プライベート・エクイティは業界が成熟し、大きな市場となるにつれて、プライベート資産の流通市場がますます重要な役割を果たしてきています。これは、投資家がファンドマネージャーを通じて取引することにしばられず、プライベート資産の買手と売手を見つけることが容易になってきたことを意味します。」

「また、プライベートエクイティ投資の仕組みも、例えば定期的な流動性ウィンドウを設けるファンドなど様々あります。これは、投資期間が終了する前に資金を引き出す必要があるかもしれない投資家にとって、より大きな柔軟性をもたらします。」

6) アクセスのしやすさ

RB：「未経験の投資家でも簡単に株式の売買ができる様々なプラットフォームがあり、公開株式の購入は比較的簡単なプロセスです。」

TC：「一般的な投資家がプライベート・エクイティにアクセスすることは、パブリック・エクイティに比べると難しいですが、規制や新しい商品の開発により、いくつかの点では容易になりつつあります。例えば、欧州長期投資ファンド（ELTIF）は、洗練された個人投資家がプライベート・アセットにアクセスできるようにしたファンド形態の一種です。一般的に、この種のファンドはキャピタルコールの回数が少なく、投資期間が短く、個人向けに税務申告は簡素化され、最低申込金額も低くなっています。」

「キャピタルコールとは、ファンドマネージャーが、投資を実行し、費用や手数料などのファンドの義務を果たすために、ファンドの投資家に資金の提供を呼びかけることです。」

プライベート・エクイティ投資とパブリック・エクイティ投資の6つの主な違い

2023年2月

パブリック・エクイティ



日々変化する幅広い投資家による
オーナーシップ

オーナーシップ



株価に影響を与える可能性のある
全ての重要情報の開示

情報の入手可能性



受動的な株主でも、年次総会で発
言権がある

投資先企業への関与



日中も価格が変動

バリュエーションの手法



取引が容易で比較的流動性が高
い

流動性



多くの投資プラットフォームからアクセ
スが容易

アクセスのしやすさ

プライベート・エクイティ



オーナーシップは少数に集中



情報は機密事項であることが
多く、一定のプライバシー要件
が満たされた場合のみ開示



投資家は多くの場合、企業の
重要な意思決定や戦略的
方向性に直接関与



月次または四半期ごとの
価格決定



比較的流動性が低く、
速やかな売却が難しい



アクセスしにくい、規制や
新商品（ELTIFなど）により
アクセスが容易に

出所：シュローダー、2023年2月

【本資料に関するご留意事項】

- 本資料は、情報提供を目的として、シュローダー・キャピタル（以下、「作成者」といいます。）が作成した資料を、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が和訳および編集したものであり、いかなる有価証券の売買の申し込み、その他勧誘を目的とするものではありません。英語原文と本資料の内容に相違がある場合には、原文が優先します。
- 本資料に示されている運用実績、データ等は過去のものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。投資資産および投資によりもたらされる収益の価値は上方にも下方にも変動し、投資元本を毀損する場合があります。また外貨建て資産の場合は、為替レートの変動により投資価値が変動します。
- 本資料は、作成時点において弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されておりますが、弊社はその内容の正確性あるいは完全性について、これを保証するものではありません。
- 本資料中に記載されたシュローダーの見解は、策定時点で知りうる範囲内の妥当な前提に基づく所見や展望を示すものであり、将来の動向や予測の実現を保証するものではありません。市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。
- 本資料中に個別銘柄についての言及がある場合は例示を目的とするものであり、当該個別銘柄等の購入、売却などいかなる投資推奨を目的とするものではありません。また当該銘柄の株価の上昇または下落等を示唆するものでもありません。
- 本資料に記載された予測値は、様々な仮定を元にした統計モデルにより導出された結果です。予測値は将来の経済や市場の要因に関する高い不確実性により変動し、将来の投資成果に影響を与える可能性があります。これらの予測値は、本資料使用時点における情報提供を目的とするものです。今後、経済や市場の状況が変化するに伴い、予測値の前提となっている仮定が変わり、その結果予測値が大きく変動する場合があります。シュローダーは予測値、前提となる仮定、経済および市場状況の変化、予測モデルその他に関する変更や更新について情報提供を行う義務を有しません。
- 本資料中に含まれる第三者機関提供のデータは、データ提供者の同意なく複製、抽出、あるいは使用することが禁じられている場合があります。第三者機関提供データはいかなる保証も提供いたしません。第三者提供データに関して、本資料の作成者あるいは提供者はいかなる責任を負うものではありません。
- シュローダー/Schroders とは、シュローダー plcおよびシュローダー・グループに属する同社の子会社および関連会社等を意味します。
- 本資料を弊社の許諾なく複製、転用、配布することを禁じます。